

野球の歴史と田端文士たち

～正岡子規、押川春浪、サトウハチローほか～



野球殿堂博物館学芸員 井上裕太氏

1985年、埼玉県川口市出身。埼玉大学文学部国文学研究科文学専攻修士後期課程修了。博士(国文学)。田端文士村記念館スポーツ博物館などを務めて現在、野球殿堂博物館学芸員、読書、スポーツなどの大衆文化や博物館学を研究。

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況に鑑み、誠に勝手ながら2020年3月3日午後5時から井上裕太先生の講演会「野球の歴史と田端文士たち」を中止し、オンライン配信「サトウハチローは、読書を中心に生きていたことになりました」に振り替えます。

井上先生のご講演される予定だったお話をについては、本紙にまとめたものでお楽しみください。

——本日は野球殿堂博物館の学芸員としてご活躍される井上先生に、野球の歴史から正岡子規、押川春浪、サトウハチローなど田端文士のことまで、幅広くご紹介いただきたいと思います。よろしくお願いします。

井上先生 よろしくお話しします。

——まず最初に、野球殿堂博物館の概要と井上先生のお仕事についてお聞かせください。

井上先生 野球殿堂博物館は、1959年6月12日、日本で最初の野球専門博物館として、後楽園球場に隣接する場所に開館しました(当時の名称は、野球体育博物館)。その後、博物館は東京ドームの建設に伴って、1988年3月17日に東京ドーム21階(右側の場所)へ移転し、名称も2013年4月1日に野球殿堂博物館へと変更して現在に至ります。館内では、プロ・アマ問わず内外の野球に

関する資料を収集・保管し、資料の展示をしています。

業務には、「展覧(常設展・特別展)企画」「イベント(公演・講座)」「野球殿堂事業」などがあり、私は展示・イベントの企画、準備などを中心に行っています。毎年1月のプロ野球の新人選手研修会では、博物館の展示が組み込まれており、新人選手の「案内」もしています。

——2003年より館内に「野球殿堂」の名がつけられたが、「野球殿堂入り」となる対象について教えてください。

井上先生 日本の野球の発展に貢献した人が対象となるため、様々な方が殿堂入りされています。そのうちの半分はプロ野球選手の方で、残りの半分はプロ野球ができる前のアマチュア選手や、アマウンサー、名選手や球団オーナー、審判や戦後、日本野球の発展に貢献した様々な職

業の方々です。文化人では、雑誌「野球界」の編集に携わりベースボールマガジン社を創業した池田恒雄、日本野球の興隆について研究し、「日本野球史記」を著した若島二風、伊人の正岡子規らが殿堂入りしています。

——野球選手と文化人で殿堂入りの異色の選出基準の違いを教えてください。

井上先生 野球殿堂入りは、競技者表彰、特別表彰の二つの委員会から選出されます。

競技者表彰は、更にプレーヤー表彰とエキスパート表彰に分かれています。前者は、現役を引退したプロ野球選手のうち、引退後5年以上経過した人が対象で、その後15年間が経過したプロ野球のコーチ、監督や、引退後6ヶ月以上経過している人の「現役を引退したプロ野球選手で、引退後21年以上経過した人」が選手対象です。

一方、特別表彰は、「現役を引退したアマチュア野球の選手(選手、コーチ、監督)で、選手は引退後5年、コーチは、監督は引退後6ヶ月以上経過している人」のプロ及びアマチュア野球の審判員で、引退後6ヶ月以上経過

している人、③プロ及びアマチュア野球の組織または管理に關して野球の発展に顕著な貢献をした人、しつとある人、④日本の野球の普及及び発展に顕著な貢献をした人、しつとある人が対象です。文化人は、主に特別表彰で選出されています。

また、2002年、03年には「これと別に、新世紀特別表彰が設けられました。これは、日本の野球の歴史・文化を通じ、広く国民に啓蒙と指導をなし、野球の普及の礎となった多大なる功勞と業績のあった人、⑤内外を問わずあらゆる分野から日本野球の発展に顕著な功勞と業績のあった人が対象で、正岡子規らが選出されました。

井上先生 1906年に、現在につながるプロ野球が始まりますが、早期に代表されるように、当時の野球の形は学生野球でした。興行として職業野球を行うことに対し、まだまだ抵抗があった時代であったため、職業野球の人気は学生野球の人気に及びませんでした。また、野球が日本に伝わって以降、一高の活劇や早稲田などに教えたのが最初と語られています。翌1873年、第一番中学は開校し、女子校と名前が変わり、新校舎とともに、立派な運動場が整備されることになりました。

その後もまもなく第二次世界大戦が始まりますが、戦中、戦後の野球界にどのような影響があったのが教えてください。

井上先生 プロ野球は次第に戦争の影響を受けるようになり、1943年には、激戦期激戦を目的に、ストライクは「ホシ一本」セーフが「よし」アウトが「ひげ」などと言うようになり、1944年には日本野球連盟は日本野球連盟と改称し試合を続けましたが、11月中止となり、戦後になると、1945年11月に神宮球場で東西対抗戦が行われ、翌46年にはベントレースが再開します。プロ野球人気も次第に高まるにつれて、連盟に加盟を希望するチームが増えたこともあり、50年にはセントラル・リーグと太平洋野球連盟、現在のパシフィック・リーグによるリーグ制になりました。

さて、ここからは田端ゆかりの文士についてもお話させていただきたいと思います。

井上先生 日本でも野球が行われたのは、1872年に第二大学区番番中(のちの東京大学)のアメリカ人教師ホーレス・ウィルソンが、彼らに生徒たちに教えたのが最初と語られています。翌1873年、第一番中学は開校し、女子校と名前が変わり、新校舎とともに、立派な運動場が整備されることになりました。

その後もまもなく第二次世界大戦が始まりますが、戦中、戦後の野球界にどのような影響があったのが教えてください。

井上先生 正岡子規は、1884年、

東京大学予備門時代にベースボールを知り、野球に熱中したと語られています。台東区の上野公園内には正岡子規記念球場があります。これは、子規が上野公園横の空き地で野球をしていたことから、命名されました。

また、1903年には、早稲田大学が慶應義塾大学に試合を申込み、早期戦が始まるなど、大学野球は大きな盛り上がりを見せました。

——プロ野球発足当初は、学生野球の方が人気だったそうですが、それはなぜでしょうか。

井上先生 1906年に、現在につながるプロ野球が始まりますが、早期に代表されるように、当時の野球の形は学生野球でした。興行として職業野球を行うことに対し、まだまだ抵抗があった時代であったため、職業野球の人気は学生野球の人気に及びませんでした。また、野球が日本に伝わって以降、一高の活劇や早稲田などに教えたのが最初と語られています。翌1873年、第一番中学は開校し、女子校と名前が変わり、新校舎とともに、立派な運動場が整備されることになりました。

先にもお名前が挙がりましたが、野球殿堂入りもしている正岡子規は、野球史においてどのような役割を果たしたのでしょうか。

井上先生 明治前期にも「三あそび」「打球おどろ」「や」「野球」などの祝詞はあったようですが、決定版とな

るような祝詞は生まれていなかった」ともあり、1894年、中野東が「校友會誌」の中で、ベースボールを「野球」と訳して、「野球」と訳したのには少し疑問があるようにも思われる方も多いかも知れませんが、子規は符号として使用しており、田端ゆかりの祝詞として「野球」をあてたのは、中野東が最初です。

一方子規は、「松屋玉屋」の中で野球のルール、用具、方法について詳しく解説しており、「ランナー」を「走者」、「フライボール」を「飛球」とするなど、現在でも使用されている野球用語を和訳しています。

——続いて、田端ゆかりの文士の押川春浪と、野球に關するお話をお願いします。

井上先生 天狗倶楽部は野球をはじめ様々な競技を娯楽として楽しんだという点では、スポーツ同好会の先駆けとも言えると思います。また、全国中等学校優勝野球大会の地方予選開催に協力するなど、野球振興に貢献した点からも評価できます。

また、天狗倶楽部の会員からは、日本初のプロチーム「日本運動協会」を創設した押川(押川春浪の弟)、河野安造、都市対抗野球大会を創設した横戸儀、学生野球の発展に貢献した飛田忠順らが野球殿堂入りしており、そのことから、彼らが日本野球発展の二端を担ったことが窺えます。

井上先生 1911年「東京朝日新聞」の紙面で、「野球と其害處」と題した連載が始まり、新進戸相違らの野球を批判する記事が掲載されています。新進戸は「野球という遊戯は悪く言えば「中野切」の遊戯。相手手を常にベアンにかけよう。計略に陥れよう。聲を遣うなど」と腹を四方八方に配り神経を鋭くしてやる遊びである。野球は遊戯なり。剛勇の気ななし」と述べるなど、紙面で野球のネガティブ・セキベインが展開されました。それに對し押川春浪は、他紙に野球賛美の意見を掲載し、その先頭に立ち、反論を述べました。

井上先生 久米正雄、星見寛ら野球好きな文士たちが集まり、「鎌倉老筆團」というチームが誕生しました。1920年当時のメンバー(順には、押川ゆかりの弟河野安造や竹久夢二)も活躍しています。このチームには、大衆文壇やサトウハチローのちに加盟して活躍する作家も残っています。

天狗倶楽部のメンバーだった横戸儀も、「鎌倉老筆團」を支援し、1902年の都市対抗野球大会に出場を果たしました。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。

井上先生 ハチローは、立教中学で野球部に在籍、先述の鎌倉老筆團にも、「編」として加わっていました。また、「編」として加わっています。



サトウハチロー(右)と、田端文士村記念館提供